2020
4
No. 689

國學院大學学報

国学院大学
令和２年４月20日(月)　定期号(毎月20日発行)　１部20円
[発行]国学院大学　[編集]総合企画部広報課　〒150-8440 東京都渋谷区東四丁目　[電話]03(5466)0130　[FAX]03(5466)0528

「門中瑣事」
世の相に　思ひ深めよ。
ありさりて、我が心を知ることも
ありなむ
（「春のことぶれ」）
釈　迢空

祭　儀　■ **神殿鎮座記念祭**　5月1日(金)　午前11時　神殿

新型コロナ 緊急事態の春
健康・安全第一に対応

国内外で感染が拡大している新型コロナウイルスにより亡くなられた方々に謹んでお悔やみを申し上げますとともに、罹患されました皆さまに心よりお見舞いを申し上げます。

国学院大学では、政府の新型コロナウイルス感染症対策本部が2月25日に決定した基本方針に沿い、教育研究機関としての社会的責任を果たすべく、3月4日に危機対策本部（本部長・針本正行学長）を設置し、大学の使命として本学の学生、教職員の健康、安全を第一の優先事項と捉え対応にあたっています。

東京都及び近県で感染拡大が続き、4月7日に政府から緊急事態宣言が出された状況をふまえ、9日から全キャンパスを閉鎖としました。6日に予定していた授業開始日は5月7日まで繰り下げ、オリエンテーションなどの実施方法も変更します。

学生の皆さんにとってかけがえのない「学びのはじまり」を遅らせることになりますが、オンラインによるガイダンスや授業の実施に向けた準備を進めるなど、全教職員一体となって、あらゆる対策を講じてまいります。

令和元年度の学部卒業式と大学院学位記授与式、今年度の学部、大学院の両入学式の式典はいずれも中止いたしました。4月から卒業生は新社会人として、新入生は本学学生として健康に生活していただくためには、多くの方々が一堂に会する機会は感染症の感染拡大防止の観点から避けなければならないとの判断からでした。

学生生活の大きな節目である卒業式、入学式を中止せざるを得なかったことは断腸の思いでありますが、学生、保護者の皆さまには、今般の事情をご賢察いただきたくお願い申し上げます。

今後も、政府の方針や感染状況によっては、本学行事の中止や延期、縮小などの措置をとることがあります。本学から発信する情報や政府発表などをご確認のうえ、ご対応いただきますようお願い申し上げます。

学長　針本正行

【新型コロナ関連の記事は３・８・９、K:DNA Ⅱ面】

祝ご入学 学問の道程に関心を

学長　針本 正行

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。国学院大学はこの春、令和の時代になって初の新入生として皆さんを迎えることができました。本学教職員を代表して心より歓迎いたします。

大学は知識を一方的に伝達する場ではありません。学生が自ら「知」への渇望を喚起しながら学びを展開する場です。とはいえ、何を手掛かりに学びを始めればよいか戸惑いもあるでしょう。そのようなときは、法則や仕組みがどのようにして導き出されたかという疑問を抱き、学問の道程に関心を持ってみてください。

リチウムイオン電池の開発でノーベル化学賞を昨年受賞した吉野彰氏が、理科に興味を持つきっかけとなったのは1冊の本との出合いでした。ロウソクの燃焼実験を通じて身近な科学の謎をひもとく名著として知られる英国の科学者、マイケル・ファラデーの著書『ロウソクの科学』です。吉野氏は、この本を通して法則が生まれる過程や、仕組みについて素朴に疑問を持ったのではないでしょうか。知が生まれる道程に興味、関心を抱くことはとても大事なことで、学びの導入になるはずです。小林秀雄賞を受賞した数学者、森田真生氏が文章を手がけた『アリになった数学者』は、アリの視点で数や図形を考えるというユニークな絵本です。学生の中には、数学が苦手という人が多いかもしれません。この本は、そうした学生にこそ手に取ってほしい1冊です。「数学者は何に関心を持って思考しているのだろう」と興味を持つきっかけをつくってくれると思います。

あらゆる学術分野に通じることですが、今ある研究は、これまでの研究成果のたまものです。知は開発、開拓され、そして更新されていくのです。

古代ギリシャの哲学者、アリストテレスは『形而上学』の冒頭で、「すべての人間は、生まれつき、知ることを欲する」と説いています。「知識を素朴に疑い、その知識が獲得された過程に対して思いを致す」という学びの出発をしてほしいと願います。そうすれば、書物やインターネット上に書かれている情報を丸写しするようなことは、おのずと避けられるはずです。

これからの大学生活が充実したものになるよう教職員一同、皆さん一人ひとりの思いに寄り添って、サポートを行っていきます。皆さんのご健闘を期待しています。

観光学部（仮称）の設置認可を申請
［詳細は６・７面］

みはるかすもの

「八月二十八日　水曜日（雨晴）目がさめると雨がふっていました。久しぶりの雨に草も木も、田も畠も、思うぞん分ぬれて、いかにも喜んでいるように見えます」▼終戦から1年後の昭和21年、小学3年生だった山中和子さんの絵日記をまとめた『昭和二十一年八月の絵日記』（トランスビュー）の一節である。兵庫県で暮らす家族の情景が当時の言葉遣いと繊細な感受性で描かれた絵で綴られる▼家庭菜園での収穫や食料の配給、勉強、家事の手伝い、夏祭りまで、生活物資も娯楽も少ないなかでも心豊かな暮らしぶりがうかがえる▼絵日記を描いて54年後の山中さんは、私家版のあとがきに「衣食住すべてが貧しい時代でしたが、不思議に辛い思い出はなく、皆が耐え抜いたように思います」と記している▼終戦から75年、新型コロナウイルスで先の見通せない毎日が続く。この疫病がなければ、毎年と変わらず入学式が挙行され、キャンパスは連日学生たちの声にあふれていただろう。そうした想像できた未来がなくなり、終わりが見えないウイルスとの戦いに不安ばかりが募る▼しかし、いつでも明日のことは誰もわからない。故に今をよりよく生きるしかない。本棚に眠る本を読み返すもいい、家の中を大掃除してもいいだろう。手元にある食材で未知の味を生み出すのも一つだ。外出自粛の限られた環境でもできることはたくさんあると、75年前の絵日記は示唆してくれる。ともあれ健康第一である。

主な内容　**2・3面**／新入生へ 歓迎のことば　**4面**／卒業・修了証書を授与　**5面**／新年度予算成立
6・7面／特集「観光学部観光まちづくり学科（仮称）」新設を認可申請　**8・9面**／インフォダイジェスト　**10面**／新任専任教職員紹介
最終面から K:DNA　**Ⅰ面**／陸上競技部 浦野選手クロスカントリー日本一　**Ⅱ面**／学長特別賞・学生部長賞受賞者

KOKUGAKUIN UNIVERSITY 140th 1882-2022

新入生へ 歓迎のことば

明確な研究目的と広い視野を持って

大学院委員長　根岸 茂夫

国学院大学大学院に入学された博士前期課程、博士後期課程の皆さん、入学おめでとうございます。

とはいえ本年は入学式もなく授業開始も遅れ、先の見えない状況が続いています。しかし皆さんは、新たな研究と高度な専門知識の修得を目指して本大学院へ入学されました。大学院が学部と異なるのは、院生各自が教員の指導のみに頼らず自ら研究や修得を重ね、新たな成果を築き、専攻分野の研究を進展させることにあります。

各院生が明確な研究目的をもって、専攻分野の研究の進展に尽力するのが大学院の研究教育方針であり、教員の指導は補助的なものです。教員などの指導に頼るだけで自らが考えようとしないと、研究や高度な専門知識の習得は進みません。もちろん教員はさまざまな研究教育の経験から、適切な指導や示唆を与えるはずです。本大学院では本年度から、複数の教員による指導体制を作りました。皆さんが一層広い知識や多様な研究方法を習得することを願ってのことです。

もちろん主体は院生自身であり、皆さんは研究や高度な知識を深めようと志しているでしょう。それにはまず、各自が専攻する分野の研究を研究史から理解し、自身の研究をそこに位置付けることが必要となります。また他の分野や諸学問に視野を広げ、幅広い知識を持つことも重要であり、大学内外の学会や研究会にも積極的に参加してください。何よりも重要な点は、研究を進展させるために資料を収集し分析し、その結果を論理的に構成して発表する能力を養うことです。

その前提として、他人の成果の盗用やデータの不正な操作、他人に対するハラスメントを決して許さない研究倫理を、しっかりと持つことを希望します。

試練は何を教えているか、今こそ学ぼう

経済学部長　橋元 秀一

75年前に焼け野原から出発した日本の経済社会は、65年前から急速に成長しました。55年余り前にはオリンピックを開催できる工業国となり、40年前には経済大国へと登りつめ先進国となりました。30年前にバブル経済が崩壊し、リーマン・ショック（世界金融危機）、東日本大震災や台風19号などの自然災害、そして新型コロナウイルス感染症のパンデミック…。

私たちが目にした現実は、何を教えているのでしょうか。築き上げた経済社会は、生じる問題に対処して人々の幸せを実現するだけの仕組みになっていなかったことを思い知らせました。私たちは、この現実を踏まえ、経済社会をつくり直さねばならないのです。起きている現実を、しっかりと見つめましょう。医療や福祉、雇用など日本の経済社会は、どこに弱点があり、どのようなものでなければならないのか、グローバル化した世界経済の中で日本はどのような役割を果たし、世界とどのような関係を築いていくべきなのか。人類が直面している問題を前に、今度こそしっかりした設計図を描き、つくり直さなければなりません。早期にパンデミックを収束させ、新たな経済社会像を構想することが強く求められています。

経済学部は、今年度より新しい経済学科と経営学科へと生まれ変わりました。徹底的に専門基礎力を身に付け、主体的に学び将来を構想し、自分が望むキャリアを掴み取ることを支援する場へ進化します。これまでに経験したことのない試練に直面している今こそ、現実に向き合い、日本と世界の人々が幸せとなる経済と経営へのつくり直しを担い、活躍できるように学びましょう。

入学、おめでとうございます。経済学部は、みなさんの有意義な学びを実現すべく全力を尽くします。

新入生歓迎の言葉―今できること―

神道文化学部長　西岡 和彦

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。4月から晴れて大学生となった皆さんは、新たな目標に向かって邁進してください。

昨今の疫病蔓延で、入学式は中止になり、授業開始日も皆さんの安全を配慮して遅らせています。この期間に、自宅に待機され、健康に留意して、今後の学習準備を行ってください。できれば不得意な分野を、重点的に補習してはいかがでしょうか。英語が苦手なら、もう一度基本にもどってやり直すのも良いことでしょう。

それに加えて読書を欠かさないでください。読書力はあらゆる分野の基本です。読書の習慣をまだ持たない方は、これを機に新書程度の本なら毎日100ページ読むことを目標に、授業が始まるまで自宅で行ってはいかがでしょうか。これにより読書力は確実に身につくことでしょう。

読む本は、どのような本でも結構ですが、できれば賢人・偉人・哲人の古典をおすすめします。こうした本を毎日100ページ読むことは骨が折れますが、最初は10ページからでも結構です。面白くなったら、どんどん読み進めてください。こうした本は、大学生の頃に読まなければ、一生無縁になってしまい、将来有意義な人生を送る上でも、不利になることはいうまでもありません。

何を読んでいいのかわからないという方は、たとえば『論語』をネットを通じて購入し、読んでみてはいかがでしょうか。このような時だからこそ、そうした哲人の書を読んで心を豊かにし、かつ人間としての正しい生き方を身につけることが大事だと思います。

以上のような読書習慣を身につけた、いきいきとした表情を持った皆さんとお目にかかるのを楽しみにしております。

卒業奉告祭・入学奉告祭を斎行

３月21日に卒業奉告祭が、４月１日に入学奉告祭が国学院大学渋谷キャンパス神殿で斎行された。卒業奉告祭には、佐柳正三理事長、針本正行学長、教職員らが参列。修了を迎える別科生らが伶人として奉仕し、厳かに雅楽を演奏した。卒業、修了、卒園の奉告と併せて、感染が広がる新型コロナウイルスの早期収束を祈念する祝詞（のりと）も奏上された。

入学奉告祭は、新型コロナウイルスの感染拡大により在学生の祭員奉仕や新入生代表の参列が見送られた。役教職員のみが参列し、佐柳理事長、針本学長らが玉串を神前に捧げ拝礼した。

令和2年度入学者数

４月７日現在の学部、大学院、専攻科、別科の入学者数は次の通り。経済学部は今年度から経済学科、経営学科の2学科体制がスタートした。

◎**大学院**◆博士前期課程◇文学研究科58人▷神道学・宗教学専攻６人▷文学専攻21人▷史学専攻31人◇法学研究科▷法律学専攻５人◇経済学研究科▷経済学専攻13人◆博士後期課程◇文学研究科21人▷神道学・宗教学専攻３人▷文学専攻９人▷史学専攻９人◇法学研究科▷法律学専攻０人◇経済学研究科▷経済学専攻１人　（大学院合計98人）

◎**学部**◆文学部706人▷哲学科67人▷史学科197人▷日本文学科264人▷中国文学科61人▷外国語文化学科117人◆経済学部493人▷経済学科238人▷経営学科255人◆法学部▷法律学科479人▶法律専攻380人▶法律専門職専攻49人▶政治専攻50人◆神道文化学部▷神道文化学科189人◆人間開発学部337人▷初等教育学科102人▷健康体育学科135人▷子ども支援学科100人（学部合計2204人）

◎**専攻科**▷神道学専攻科神道学専攻32人（専攻科合計32人）

◎**別科**▷神道専修Ⅰ類１人▷神道専修Ⅱ類3人（別科合計４人）

［総計2338人］

令和2年度一般入試志願者は減少 新型コロナ対策講じB日程実施

令和２年度の一般入試志願者は約２万6000人で、大幅増だった昨年度からは減少したが、堅調に志願者を確保した。

令和３年度入試から大学入学共通テストの実施が予定されるなど、大学入試を取り巻く環境が大きく変化する中、２年連続で２万5000人を超える志願者を着実に集めた。

２月26日に行われたＢ日程入試には、前年度を1000人以上上回る3500人余りが受験。試験会場内に消毒用アルコールが設置され、試験監督らがマスクを着用するなど新型コロナウイルス対策が取られる例年と異なる雰囲気の中、予定通り試験が行われた。

新型コロナウイルスに関する本学の対応について

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、国学院大学が実施する授業、課外活動に関する対応は次の通り。政府、東京都、神奈川県の方針などにより変更になる場合がある。

キャンパスの閉鎖＝緊急事態宣言を受け、４月９日から５月６日まで全キャンパスを閉鎖し、事務の取り扱いも休止。図書館、コンピュータ自習室は渋谷・たまプラーザ両キャンパスともに４月８日から５月６日まで閉館・閉室、博物館は４月８日から５月15日まで閉館となる。

オリエンテーション＝４月20日から30日に一部を除きオンライン配信で実施。詳細はK-SMAPYⅡや本学ＨＰで連絡する。

前期授業＝授業開始は５月７日とし、７月29日まで実施する。前期の期間内試験は７月30日～８月５日に実施。一部を除きオンライン配信で実施。

課外活動＝５月６日まで課外活動と学内施設の利用を禁止。４月20日～５月６日は、部会・サークルなどの勧誘活動を禁止とし、学外での集会、ＳＮＳを利用した勧誘、新入生との接触の自粛などを学生部は求めている。部会・サークルなどの勧誘活動の開始は、授業開始後、学生部と新歓実行委員会の協議の上、時期・方法を発表する。

本学関係者の感染＝２人（内訳：教職員０人、学生２人）を確認。

［４月17日17時現在］

高等教育無償化に伴い奨学金制度を変更

国による新たな経済支援制度「高等教育の修学支援新制度」が４月１日、施行された。国学院大学では、制度施行に伴って既存の学内奨学金を見直した。主な変更点は次の通り。

◎「ふるさと奨学金」を拡充

地方出身学生を対象とした「弘田ふるさと奨学金」を「ふるさと奨学金」（年額20万円）としてリニューアルした。募集人数は若干名から「各学年５人・最大計20人」に大幅拡充される（ただし、令和２年度は１年生のみ募集、次年度以降対象学年を拡大）。

選考対象学年は「１年次のみ（４年間保証）」から「全学年（単年度採用）」に拡大することで途中年度から応募できるよう旧制度から改良した。

◎「国学院大学修学支援奨学金」の募集停止

「高等教育の修学支援新制度」により対象範囲及び支給額が「国学院大学修学支援奨学金」を大幅に上回ることから、同奨学金制度は今年度から募集停止となる。

学生生活課は、同制度の利用を検討していた学生に「『高等教育の修学支援新制度』利用の検討を」と呼びかけている。

詳細は大学ＨＰなどで確認を。

10年の節目 共存学の未来を展望

令和元年度共存学シンポジウム「『グローカル』世界のビジョンを探る～『共存社会』の構築に向けて～」が２月18日、渋谷キャンパスで行われた。10年の節目を迎える「共存学」プロジェクトは、建学の精神を具現化し、日本や世界の社会のあり方、グローバル化や一体化する世界の再検討によって、「共存社会」を構想し、社会に提言するもの。

シンポジウムでは、これまでプロジェクトの中心を担ってきた古沢広祐経済学部教授（当時）ら３人の教員からの報告があり、これまで蓄積してきた研究成果を踏まえ、総括と未来への展望を検討した。

入学おめでとう！

走れ！メロスたち

文学部長　石川 則夫

無二の親友に信じられているから走るのだとメロスは答えます。野を越え山を越え、急流を泳ぎ渡り、山賊を蹴散らしてやっと街に入ったところで、走るのをやめてくださいと声かけられた時でした。親友を己の身代わりに置いてきたメロスは、ともすれば挫折しそうになる己を奮い立たせ、なりふり構わず疾走してきてもう一息という時でした。しかし、これに続いて言い放ったメロスの言葉はちょっと意外なものです。「間に合う、間に合わぬは問題ではないのだ。人の命も問題でないのだ。私は、なんだか、もっと恐ろしく大きいものの為に走っているのだ」と。しかし、これでは大事な目的が消えてしまっている。それでもメロスはただわけのわからぬ大きな力にひきずられて走ったと描かれています。

ある動機があって、達成したい目標が定まり、必要な作業を考え、順序だてながらこなしていく。そうすれば実現できると学んできたはずです。つまり、このプロセスは我々の希望や意思を現実的な行為として明確化し得ることが目標実現の条件であるという前提に立っています。しかしこれは、人間の意識の領域のみ人生の意味が存するという、あるいは思い込みに過ぎないのではないか。実はそうではなく、人間がわけもわからず一心不乱になり得た時こそ、「恐ろしく大きいもの」が現れる。意識的な行為を突き詰めた末に、意識が消失する瞬間が訪れる。その時、人生の真の意味が姿を現してくる。あなたの身体の動きの中にあなたを超えるものが潜んでいる、そうメロスは告げているのです。

入学おめでとう。一心不乱に学問の世界に突き進んでください。走れ！メロスたち。

「一人ひとりの大学生活」のすすめ

法学部長　一木 孝之

ご入学おめでとうございます。今日までの克己奮励に対し、心より敬意を表します。

皆さんがこれから4年間大学で送る生活とは、小学校から始まった学校教育の最終段階であるとともに、その先に待ち受ける社会活動のための準備期間でもあります。そうすると皆さんは、大学で、学生としての集大成を迎えるとともに、社会人になるための学修を期待されることになります。

とはいえ、「学生としての身分で、社会人たるべく修練すること」とは、決して職業訓練を意味するものではありません。また、具体的な目標に向けた勉学に専心することだけとも限りません。大学とは、皆さんが想像する以上に豊かな学びの源泉です。実利に尽きないさまざまな可能性を提供することが、大学の役割といえます。

そのように広大な大学にあっては、4年間の学生生活を通じても、ようやくその一端が垣間見えるにすぎません。皆さんの目に映る「大学」とは、各人で異なり完全一致することはありません。つまり、「画一的な大学生像」とか、「理想の大学生活」といったものはないことになります。むしろ、学生が自分なりに工夫・模索しながら、着実に歩むことこそが肝要といえます。

そうした「一人ひとりの大学生活」を充実させるためには、大学に積極的にかかわることが最も大切です。学問そのほかに関して、これだけは大学生として獲得したと確実に言えるものを発見することができれば、社会人としてはばたくための力になります。

これからの4年間が充実するかは、結局のところ皆さん自身にかかっています。是非とも「楽しさ」を探してみてください。

新たなる出発に寄せて

人間開発学部長　成田 信子

国学院大学に入学された新入生のみなさん、おめでとうございます。心より祝意と歓迎を申し上げます。

明治以来の歴史を有する本学は、学問を修めようとする者の意欲に応える環境がそろっています。大学生としてこの環境を生かさぬ手はありません。自らの意思で知りたいこと、学びたいこと、追究したいことを見つけ、未知の世界でおおいにはばたいてください。

人間開発学部は、本学にあっては創設11年目の若い学部です。教育や体育の道を志す人のために、幅広い学びを提供できるように準備しています。教職を目指している人、指導者を目指している人、人とかかわって活動したい人には、今まで培ってきたさまざまな学修の資材があります。「たまプラーザキャンパスから外へ広がる学び」といってもよいと思います。講義や演習と実際の活動を結び付けて深く考える場をたくさん持っています。多くの学生が、ボランティア、インターンシップや課外活動において学外の多くの人たちとつながって学生にしかできない活動を展開しています。人間開発学部では多くの人と共に学び育つ「共育」という考え方を取り入れています。子どもたちや地域の方と双方向でかかわり、共に育つことです。「また来てね」「またいっしょに活動しましょう」と言われることは、かけがえのない宝になります。

新入生のみなさんも、本学人間開発学部の一員として、「共育」の仲間になり、新しい文化の創造に立ち会ってください。お待ちしています。

卒業・修了証書を授与

巣立ちの日「会えてよかった」

国学院大学は令和元年度第128回卒業証書・学位記並びに修了証書の授与を3月22日、渋谷、たまプラーザの両キャンパスで行った。新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐため、グランドプリンスホテル新高輪（東京都港区）で同日に挙行予定だった式典を中止。授与は、学部などで開始時間をずらし、卒業・修了生2513人を延べ47教室1講堂に分散させて実施し、同行の保護者らには会場外での待機を求めた。

各教室などで、はかま姿やスーツ姿の卒業生らを前に、担当教員が「社会全体が不安に包まれる今、大学で身につけた学びを生かし、情報に惑わされないようにしてほしい」などと贈る言葉を述べた。卒業生ら一人一人の名前が読み上げられ、教員から卒業証書などが渡されると、卒業生らは拍手をし合って新しい人生の門出を互いに祝福した＝**写真上、同中**。このうち、神道文化学部・神道学専攻科・別科神道専修では、発熱などのために参加できない卒業生や会場に入室できない保護者らのために、授与の模様を同学部のフェイスブックページでライブ中継した。

学部での授与に先立ち針本正行学長から各学部の総代に対して卒業証書・学位記が、専攻科・別科の修了生総代には修了証書が手渡され、激励の言葉が贈られた。続いて若木育成会から成績優秀者の表彰が行われた。

4年間の成長 静かな出発の時

キャンパス内には友人や保護者らと談笑する卒業生らの姿が目立った＝**写真下**。名残惜しそうに学び舎を見上げていた高田裕子さん（日文）は「式典は行われなかったが、キャンパス内で証書授与の機会がなくならなかったことで、友人と話をしたり写真を撮ったりすることができて、よかった」と笑顔。母の純子さんは「天気も良く、桜も咲いていて、晴れやかな気持ちで卒業を迎えられた。就職活動もしっかりと乗り切った娘が頼もしく見える」と目を細めた。

友人と晴れ姿を撮影していた小林優さん（同）は「規模は縮小されたが、証書を受け取る機会をつくってもらえた。仲間にも会えて、卒業の雰囲気を味わえてよかった。卒業後は、自分の行動に責任を持つことができる大人を目指したい」ときっぱり。母の文子さんは「今朝、娘のファーストシューズを偶然に見つけ、娘の早い成長を実感した」と感慨深そうだった。

正門で本学の銘板と記念撮影をしていた羽鳥綾夏さん（哲）は「式典がなくなってしまい寂しいが、友人たちと会える場を設けてもらい、うれしかった。学年が上がるごとに、将来について考えることが増え、自分の人生と向き合う学生生活だった」と感無量の様子。安田一貴さん（法）は「例年とは違う卒業になったことで、長く記憶に残るものになったと思う。国学院の卒業生だと胸を張って言えるような人間になりたい」と力を込めた。

大学院 学位記授与 規模縮小し実施

国学院大学は令和元年度の大学院学位記授与を3月21日、新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐために式典形式での開催は中止し、規模を縮小して渋谷キャンパスで行った。

博士学位記の授与は、若木タワー地下の会議室で実施。博士課程後期終了生10人の氏名と論文名が紹介され、針本正行学長から博士学位記が授与された。針本学長や根岸茂夫大学院委員長が祝辞に代えて一言ずつ挨拶した後、論文審査員の主査を務めた教授らが博士学位記取得者の論文を短く紹介し、その功績をたたえた。

博士の学位を授けられた修了生たち

博士（歴史学）を取得した松浦里彩さん（博後史）は大学院での学びを振り返り、「研究を通じ、あきらめないことの大切さを学んだ」。松浦さんの学院論文の主査を務めた藤澤紫文学部教授が「研究の才能は、続けること、やめないこと」と話しかけると、松浦さんは「その点はめげなかった」と笑顔で応じていた。

博士課程前期修了生63人に対する学位記や博士課程後期所定単位修得退学者15人への記念品の贈呈は、各演習室で専攻ごとに分かれて行われた。

修士（文学）が授与された柴﨑一孝さん（博前文）は「1年目で論文のテーマを決め、2年目に執筆を始め、慣れてきたと思ったらもう終わってしまった。目まぐるしく過ぎた2年間だった」と充実した日々を思い出していた。

吉田永弘教授に今泉博士記念賞

国学院大学は、日本語学の分野で優れた功績があった研究者に贈られる今泉博士記念賞を吉田永弘文学部教授に贈ることを決定した。吉田教授は、長年にわたる日本語文法史研究の成果を『転換する日本語文法』（和泉書院）として刊行。条件表現、可能表現、尊敬表現、断定表現を中心に用法の指摘変遷を解明した。同賞選考委員会は「日本語の史的変遷の実態を解明することを最も尊重した今泉忠世博士の学風に添うもの」と評価した。

表彰式は3月24日、渋谷キャンパスで行われ、針本正行学長から表彰状と副賞が手渡された＝**写真**。吉田教授は「今後とも学統を引き継げるように、さらに努力していく所存です」と挨拶した。

今泉博士記念賞は、故今泉忠義博士の遺族の意思に基づき、博士の学績を記念するため昭和53年度に設立。吉田教授は13人目の受賞者となった。

2氏に学位記を授与

福沢健氏

榎本博氏

国学院大学は福沢健氏（中村学園大学准教授）に博士（文学）、榎本博氏（埼玉県春日部市郷土資料館学芸員）に博士（史学）の学位を授与することを決定した。3月18日、渋谷キャンパスで針本正行学長から2氏に学位記が贈られた。

福沢氏の学位審査論文は『古代の歌と歴史叙述』。主査は谷口雅博文学部教授、副査は野中哲照文学部特任教授、大石泰夫文学部教授、土佐秀里文学部教授。

榎本氏の学位審査論文は『日本近世における地域政治と知』。主査は根岸茂夫文学部教授、副査は吉岡孝文学部教授、大友一雄総合研究大学院大学教授・本学大学院兼任講師、渡辺尚志一橋大学教授。

幻の宮殿「斎宮」に迫る 2博物館が連携公開講座

国学院大学博物館と三重の斎宮歴史博物館による連携公開講座「古代国家『日本』の原点と伊勢斎宮」が2月22日、渋谷キャンパス常磐松ホールで開催された＝**写真**。

天皇の代理として天照大神に奉仕した斎王の宮殿で、かつて「幻の宮殿」と呼ばれた斎宮について、本学の岡田荘司名誉教授は、「天武天皇が壬申の乱に勝利して即位し、娘である大来皇女が斎王となった7世紀後半以降、天皇新嘗・大嘗祭と斎王祭祀が体系化され、古代祭祀が確立された」と基調講演した。

また、現地調査を続ける斎宮歴史博物館調査研究課の大川勝宏課長が、昨年の発掘調査で見つかった7世紀後半の塀や建物遺構について報告し、本学博物館館長の笹生衛教授が沖ノ島祭祀遺跡との関連などを紹介した。

法人の主な役教職員人事

法人の主な役職員人事は次の通り。

異動

◎法人主事・法人事務局部長▷大野靖仁（神道研修事務部長・神道研修事務課長兼務）

（令和2年4月1日付）

若木育成会から教育環境整備協賛金目録贈呈

若木育成会教育環境整備協賛金目録贈呈式が3月21日、渋谷キャンパスで行われ、同会の堀江久教会長から針本正行学長に目録が贈呈された＝**写真**。

同会は在学生保護者の組織で、大学と保護者との連絡を密にし、学生の勉学と福祉、大学教育の振興充実、併せて会員相互の親睦を図ることを目的としている。今回の協賛金は教育環境整備のために活用される予定。

院友神職会から寄付目録贈呈

卒業生の神職によって組織される国学院大学院友神職会から、研究の振興などを目的として本学に寄付が贈られ、その目録の贈呈式が3月17日に行われた。松山文彦同会会長（昭43修・76期神専攻、東京大神宮宮司）から針本正行学長に目録が手渡された＝**写真**。

岡野名誉教授に井上靖記念文化賞特別賞

作家の井上靖さんの出身地・北海道旭川市などが文化活動で地域や社会に貢献した個人や団体に贈る第4回「井上靖記念文化賞」特別賞に歌人の岡野弘彦名誉教授が決まった。本賞は作家の宮本輝さんが選ばれた。贈呈式は5月30日に旭川市で行われる予定。

岡野名誉教授は万葉の歌を研究し、短歌の第一人者として傑出した作品を作った業績が評価された。

井上靖記念文化賞は、平成19年度まで15年にわたり続いた「井上靖文化賞」の流れを汲んだもの。報道機関や文化芸術団体などからの推薦で候補を公募し、作家などの選考委員が受賞者を決める。

訃報　土肥名誉教授

土肥義和名誉教授が3月14日に逝去。86歳。葬儀は、近親者により執り行われた。

土肥氏は昭和8年生まれ。33年中央大学文学部卒業、36年同大学院文学研究科修士課程修了、42年同博士課程単位修得退学。東洋文庫研究員、国学院大学文学部兼任講師などを経て51年同文学部専任講師。52年同助教授、59年同教授、平成16年定年により退職。同年名誉教授。

専門は東洋史。編著書に『敦煌・吐魯番文書の世界とその時代』（汲古書院）『敦煌・吐魯番出土漢文文書の新研究』（東洋文庫）などがある。

新年度予算成立

令和2年度国学院大学予算は、3月27日開催の理事会・評議員会で承認、成立した。

◇資金収支予算

資金収支予算は会計年度中のすべての収入予算および支出予算の内容と支払資金の顛末を明らかにすることを目的としている。

◇事業活動収支予算

事業活動収支予算は、①教育活動②教育活動以外の経常的な活動③前記2項以外の活動に対応する事業活動収支及び事業活動支出の内容を明らかにするとともに、当該会計年度において基本金に組み入れる額を控除した、当該会計年度の諸活動に対応するすべての事業活動および事業活動支出の均衡の状態を明らかにすることを目的としている。つまり、「3つの活動に対応する事業活動収入および事業活動支出の内容を明らかにする（区分経理）」、「均衡の状態を明らかにする（収支の均衡）」を主な目的としている。

詳細は、本学HPに掲載している。

（財務部 経理課）

資金収支予算書　令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

（単位：百万円）

収入の部 科目	予算	前年度予算	増減	支出の部 科目	予算	前年度予算	増減
学生生徒等納付金収入	13,094	13,258	△164	人件費支出	9,737	9,595	142
手数料収入	764	716	48	教育研究経費支出	3,894	4,025	△131
寄付金収入	389	449	△60	管理経費支出	1,363	1,399	△36
補助金収入	2,255	2,271	△16	借入金等利息支出	11	12	△1
資産売却収入	0	0	0	借入金等返済支出	770	820	△50
付随事業・収益事業収入	179	188	△9	施設関係支出	6,708	3,416	3,292
受取利息・配当金収入	145	191	△46	設備関係支出	316	339	△23
雑収入	580	427	153	資産運用支出	3,210	4,522	△1,312
借入金等収入	586	596	△10	その他の支出	254	401	△147
前受金収入	2,651	2,481	170	予備費	449	499	△50
その他の収入	7,705	5,067	2,638	資金支出調整勘定	△219	△233	14
資金収入調整勘定	△2,719	△2,769	50	当年度支出合計	26,493	24,798	1,695
当年度収入合計	25,630	22,875	2,755	翌年度繰越支払資金	6,667	7,530	△863
前年度繰越支払資金	7,530	9,453	△1,923				
収入の部合計	**33,160**	**32,328**	**832**	**支出の部合計**	**33,160**	**32,328**	**832**

事業活動収支予算書　令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

（単位：百万円）

		科目	予算	前年度予算	増減
教育活動収支	事業活動収入の部	学生生徒等納付金	13,094	13,258	△164
		手数料	764	716	48
		寄付金	165	172	△7
		経常費等補助金	2,235	2,251	△16
		付随事業収入	179	188	△9
		雑収入	580	427	153
		教育活動収入計	**17,017**	**17,012**	**5**
	事業活動支出の部	人件費	9,870	9,615	255
		教育研究経費	5,572	5,696	△124
		管理経費	1,500	1,457	43
		教育活動支出計	**16,942**	**16,768**	**174**
教育活動収支差額			**75**	**244**	**△169**
教育活動外収支	事業活動収入の部	受取利息・配当金	145	191	△46
		その他の教育活動外収入	0	0	0
		教育活動外収入計	**145**	**191**	**△46**
	事業活動支出の部	借入金等利息	11	12	△1
		その他の教育活動外支出	0	0	0
		教育活動外支出計	**11**	**12**	**△1**
教育活動外収支差額			**134**	**179**	**△45**
経常収支差額			**209**	**423**	**△214**

		科目	予算	前年度予算	増減
特別収支	事業活動収入の部	資産売却差額	0	0	0
		その他の特別収入	259	312	△53
		特別収入計	**259**	**312**	**△53**
	事業活動支出の部	資産処分差額	13	98	△85
		その他の特別支出	0	81	△81
		特別支出計	**13**	**179**	**△166**
特別収支差額			**246**	**133**	**113**
［予備費］			449	499	△50
基本金組入前当年度収支差額			6	57	△51
基本金組入額合計※			**△6,151**	**△4,558**	**△1,593**
当年度収支差額			△6,145	△4,501	△1,644
前年度繰越収支差額			△8,130	△3,629	
基本金取崩額			0	0	
翌年度繰越収支差額			**△14,275**	**△8,130**	

（参考）

事業活動収入計	**17,421**	**17,515**	**△94**
事業活動支出計	**17,414**	**17,458**	**△44**

※■第1号基本金　58億5,100万円
教育の質向上のために取得した固定資産の価格
■第2号基本金　3億円
教育の質向上のために将来取得する固定資産取得に充てるもの

大学の主な役教職員人事

国学院大学の役教職員人事で、役職者における異動・新任者などで主なものは次の通り。

役職者　※は再任

◎学則委員長▽高内寿夫（任期2年）※

昇格異動等

〔教員〕

◎文学部◆教授▽青木敬▽新藤透◆准教授▽渡辺俊和

◎法学部◆教授▽佐古田真紀子▽藤嶋亮

◎経済学部◆教授▽山本健太

◎神道文化学部◆准教授▽星野光樹

◎人間開発学部◆准教授▽伊藤英之▽廣井雄一

〔大学事務局〕

◎神道研修事務部長▽北澤薫（法人主事・法人事務局部長）

◎総務部危機管理担当部長・総務課長兼務▽謡口秀見（総務部次長・総務課長兼務）

◎財務部経理課長兼務を解く▽中村大介（財務部長・財務部経理課長兼務）

◎教学事務部教職担当部長▽柴田克之（学術メディアセンター事務部図書館担当部長）

◎学術メディアセンター事務部研究開発推進機構・図書館担当部長▽山口輝幸（学術メディアセンター事務部研究開発推進機構担当次長）

◎学術メディアセンター事務部情報システム担当部長▽堀内弘行（学術メディアセンター事務部情報システム担当次長）

◎総合企画部次長・企画課長兼務▽後藤匠（総合企画部企画課長）

◎国際交流事務部国際交流課長兼務を解く▽石山昭彦（国際交流事務部次長・国際交流事務部国際交流課長兼務）

◎神道研修事務部神道研修事務課長▽大久保規志（神道研修事務部神道研修事務課長補佐）

◎総務部校友課長▽田中裕巳（総合企画部エクステンション事業課長）

◎総合企画部エクステンション事業課長▽人見剛（教学事務部教育開発推進機構事務課教職担当課長）

◎財務部経理課長▽村越美里（財務部経理課長補佐）

◎教学事務部教育開発推進機構事務課教職担当課長▽坂入裕一（教学事務部教育開発推進機構事務課長補佐）

◎国際交流事務部国際交流課長▽茂木奈津子（国際交流事務部国際交流課長補佐）

◎学術メディアセンター事務部図書館事務課長▽澤井隆（学術メディアセンター事務部図書館事務課たまプラーザ担当課長）

◎学術メディアセンター事務部図書館事務課たまプラーザ担当課長▽安達匠（学術メディアセンター事務部図書館事務課長）

◎学術メディアセンター事務部図書館事務課資料室担当課長▽小柳圭子（学術メディアセンター事務部図書館事務課長補佐（文学部資料室））

移籍・任用形態変更

〔教員〕

◎文学部◆教授▽澤田浩一（教育開発推進機構から史学科へ）

◎人間開発学部◆教授（特別専任）▽小笠原優子（教育開発推進機構から初等教育学科へ）

◎研究開発推進機構◆助教▽児玉千絵（新学部設置準備室から）▽武田幸也▽吉永博彰（以上、助教（特別専任）から変更）

〔大学事務局〕

◎嘱託◇学生事務部学生生活課学生相談室カウンセラー▼石田真由子（学生事務部学生生活課学生相談室）

新任　※は任期延長

〔教員〕

◎文学部◆教授（特別専任）▽菊地康人◆准教授▽江川式部▽神長英輔▽進藤久乃

◎法学部◆専任講師▽羅芝賢

◎経済学部◆教授▽小野正人◆准教授▽尾田基▽櫻井潤◆助教▽安達行祐◆助教（特別専任）▽辻和洋

◎神道文化学部◆助教▽大道晴香▽柏木亨介

◎人間開発学部◆教授▽大矢隆二▽富田一誠◆助教▽小林唯※

◎新学部設置準備室◆教授▽西村幸夫

◎研究開発推進機構◆教授▽梅川智也▽楓千里▽下村彰男▽米田誠司◆准教授▽石山千代▽清野隆◆助教（特別専任）▽半田竜介

◎客員教授▽嵐山光三郎▽岩下尚史▽北澤豪▽久保田るり子▽さだまさし▽佐藤美穂▽東儀秀樹▽徳川恒孝▽平林岳▽松平定知（以上令和3年3月31日まで）

〔大学事務局〕

◎専任◆総合企画部企画課書記▽淡路治子（総合企画部企画課嘱託）◆財務部経理課主査▽小野関和貴◆総務部人事課（試用期間）▽米山聡香◆総合企画部入学課（試用期間）▽濵野達哉◆教学事務部教務課（試用期間）▽柏木悠太郎◆教学事務部教育開発推進機構事務課（試用期間）▽富永萌香◆たまプラーザ事務部たまプラーザ事務課（試用期間）▽肱岡幸奈

◎嘱託◆神道研修事務部神道研修事務課▽春田華奈※◆学術メディアセンター事務部研究開発推進機構事務課（博物館学芸員）▽尾上周平◆学術メディアセンター事務部研究開発推進機構事務課（博物館）▽三島隆◆学生事務部学生生活課（学生相談室）▽河西直歩◆陸上競技部コーチ▽山口祥太

出向受入れ

◎大学事務局◆財務部▽福井文（令和2年4月1日付）

退職

◆**自己都合**

◎研究開発推進機構◆助教▽齋藤公太

◎教育開発推進機構◆准教授▽戸村理

◆**期間満了**

◎嘱託◆学生事務部学生生活課学生相談室▽田中智人

（令和2年3月31日付）

文理横断型の学びで地域の魅力発信

「観光学部観光まちづくり学科（仮称）」新設を認可申請

国学院大学は3月、令和3年春の新設を目指す「観光学部観光まちづくり学科（仮称）」の認可申請を文部科学省に提出した。

今後、審査が行われ、早ければ8月末にも認可される見通し。

認可されれば、本学は6学部13学科体制となる。

観光学部の設置キャンパスはたまプラーザで、入学定員は300人。

「文理横断型思考」により「地域」の魅力を発見、発信できる人材を育てる。

針本正行学長に構想を聞いた。

国学院大学 観光学部
観光まちづくり学科
（仮称）

地域から観光を考える

文系と理系の垣根を越えて学ぶ

理論と実践の両面から学ぶ

卒業後の主な進路

公共から地域を支える	国家公務員、地方公務員、学芸員
地域に根ざした事業を担う	観光協会・DMO※、NPO、地域づくり組織、Uターン・Iターン起業
観光の専門性を活かす	コンサルタント、宿泊業・旅行業、観光施設運営者、航空・鉄道等交通事業者
経済活動で地域と世界をつなぐ	出版・放送、広告代理店、商社・金融・IT産業

※観光地域づくりを担う法人

――新設の学部を「観光」としたことの狙いは

観光学部の学びは、観光客を「送り出す側」の視点から観光を捉えるだけでなく、「迎え入れる側」である地域を掘り下げる研究に重点を置きます。本学はこれまでも、地域の祭りや伝統文化、社会、経済、支える人づくりの教育研究を既存の5学部（文・経済・法・神道文化・人間開発）が行ってきました。観光学部は建学の精神を継承し、地域の魅力の発見・発信、観光まちづくりに実践的な働きかけができる能力の育成が役割です。これは、本学だからこそできる人材育成なのです。

――人文・社会学系の総合大学として、観光学部の新設は文系、理系の区分けにとらわれない学びの場となる挑戦でもあります

持続可能な地域の構築に求められているのは、人文・社会科学に関する学識にとどまらず、自然科学などの学問領域の垣根を越えて見渡せる人、つまり文理横断的な論理的思考を持つ人です。このため、観光学部に招く新たな教員の多くは理系の学位を持つ方々を予定しています。

――卒業後の想定される進路は

国や地方自治体の公務員として地域を支えるほか、観光協会やNPO（民間非営利団体）で地元に根差した事業を担う人も生まれるでしょう。経済活動を通じて地域と世界をつなぐメディアや広告代理店、商社、IT産業も視野に入ります。

――志望者に望むことは

「共生」の姿勢を持ってほしいと願います。授業では地域の諸課題をテーマとした演習を継続的に行いますから、地域の人々と一緒によりよい地域のあり方について考えていくことになるでしょう。そこでは、地域の本性を実感するとともに、自身の新しい人間性を獲得することができるはずです。

――観光学部が学内に与える影響で期待するのは

新設の学部は、学内に新しい価値観や学問知を吹き込んでくれます。学部や正課・課外、学生や教職員を問わず、新しい人間関係を通じた相乗効果が期待できます。特に、たまプラーザキャンパスでは、教員やスポーツ指導者を志す人間開発学部の学生と、観光まちづくりの担い手を目標とする観光学部の学生とが集うことになります。互いに共感、影響し合いながら成長してもらえるのではないかと考えています。

御代替わりを支えた「衣紋道」本学関係者ら"裏方"ご奉仕

上皇陛下の譲位に始まる「令和の御代替わり」は、国内外の耳目を集めつつ滞りなく行われた。中でも、天皇陛下がお召しになった「黄櫨染御袍」など普段は見ることのない衣装に目を奪われた人も多いと思う。

御代替わりに用いられた衣装は平安時代に確立された宮廷装束を源とする。最高位の「束帯」は皇室行事や特定の神社などでしか用いられない特別なものだ。「衣紋」と呼ばれる着付けも独特で、束帯に関しては衣紋の授業を持つ国学院大学にあっても実践されることはないという。

茂木貞純教授

今回の御代替わりでは、本学関係者を中心とした「千代田衣紋道研究会」が臨時に組織され、束帯の衣紋などを1年以上にわたって稽古した。会長を務めた神道文化学部の茂木貞純教授は「大嘗祭直前に行われた習礼では初めて多人数への著装でやや不安が残った。しかし、全般を見ると当初予定していた掌典職への衣紋がきちっとご奉仕できた」と振り返る。

大久保規志課長

本研究会には東京周辺で活動する院友や神職ら約50人が参加し、渋谷キャンパスの祭式教室などで稽古を積んだ。本学職員として裏方も務めながら奉仕した神道研修事務課の大久保規志課長（平10卒・106期法）は「衣紋は下から順番に装束を重ねていくものなので、下が崩れるとすべてがグズグズになってしまう。一つ一つ積み上げていくことが大切」と語る。

木名瀬真大禰宜

茨城県小美玉市から足繁く通った素鵞神社の木名瀬真大禰宜（平20卒・116期神文）は直前の点検で不具合を発見し、「事前の点検が大事だと実感した」という。そして神職を目指す後輩に「装束を目にしたり触れたりする機会を増やし、在学中に衣紋のスキルを体得してもらいたい」とのメッセージを残した。

岡本和彦氏

洋服のようにサイズの別がない装束は、着る人の体型に合わせて調整することが重要となる。宮内庁京都事務所の職員として「平成の大礼」を、本研究会の講師として「令和の大礼」を経験した伝統文化保存協会事務長の岡本和彦氏は、「最近の衣紋は見栄えや手際を優先して我流に流れがち。著装者が実際の儀式に参加する実践衣紋を教えるに当たり、基本を身につけてもらうことを一番に考えた」と強調しつつ、「今回の完成度は70～80％ぐらいか」と採点。さらに、「今後は国学院大学など民間で衣紋道を伝えて行くことも大切になる」と振り返った。

大嘗祭で奉仕する会員ら（千代田衣紋道研究会提供）

インタビューの詳細は、本学ホームページ内「国学院大学メディア」に掲載。

インフォダイジェスト

…在学生　…保護者　…卒業生　…一般　…受験生
内内容　日日にち　時時間　場場所　対対象　申申し込み　料料金　問問い合わせ

大学からのお知らせ

学生定期健康診断について

内令和２年４月１日から11日に予定していた学生定期健康診断は延期とし、８～９月に実施する予定です。詳細（日時・場所）については、決定次第、改めて大学ＨＰなどで連絡します。

これに伴い、令和２年度学生定期健康診断を受診した学生を対象とした健康診断証明書の発行開始時期は、10月中旬を予定しています。就職活動などで健康診断証明書の提出を求められた方は、大学ＨＰに公開中の「健康診断証明書について」の『【就職活動用】（企業宛）健康診断証明書に関する依頼文（４／２掲載）』の文章をご利用ください。

問保健室

証明書発行はコンビニ受け取りを

内国学院大学「証明書発行サービス」は、必要な証明書の発行をオンラインで申請、クレジットカード・コンビニ現金決済し、全国のコンビニエンスストア（セブン―イレブン、ファミリーマート、ローソン）の各店舗内に設置されているマルチコピー機を利用して、各種証明書を発行するサービスです。オンライン申請郵送サービスは、必要な証明書の申請、決済を実施いただき、従来通りの郵送にてお送りするサービスです。別途、必要部数、送付方法により郵送料が必要となります。

※但し、原則として在学生は郵送サービスを行いません

問教務課、たまプラーザ事務課

この時間を有効活用し就職活動準備を

内今後の採用活動が予測できない事態ではありますが、有効に活用して自己分析や企業研究、業界研究を行いましょう。企業研究・業界研究には、キャリアサポート課から配布している「企業大研究」をもう一度読み返してみましょう。

就活への不安に付け込もうとする悪徳商法が発生する恐れもあります。活用する情報の信頼性には十分気を付けてください。

問キャリアサポート課

図書館休館中の資料返却

内返却期限日が４月８日から５月10日までの資料は、返却期限日を５月11日に変更します。

既に返却期限日を過ぎている資料について、来館での返却が難しい場合は、郵送や宅配便で送付してください。郵送、宅配便での返却にかかる送料は利用者の負担とします。輸送中に図書が破損・汚損しないように、ビニール袋などで梱包して送付してください。宛先など詳細は図書館ＨＰを参照。

自宅学習に電子書籍の活用を

内在学生、専任教職員は、学外から一部の電子書籍の利用が可能です。最新情報は、図書館ＨＰや図書館から送信されるメールでご確認ください。

問図書館事務課

夏期短期留学の中止について

内新型コロナウイルス感染症の収束時期が世界各地で見通せない状況を考慮し、予定されていたすべての「令和２年度夏期短期留学」の中止を決定しました。実施予定だった国・地域と大学は次の通り。

▶アイルランド、ダブリンシティ大学
▶カナダ、マニトバ大学
▶カナダ、ケープブレトン大学
▶台湾、南台科技大学
▶ドイツ、ブレーメン大学
▶フランス、西部カトリック大学

また、本学と委託契約を結んだ外部業者が企画運営する「海外インターンシップ」プログラムについても、今年の夏休みの募集は行いません。

問国際交流課

オープンカレッジの４月開講見合わせについて

内オープンカレッジの４月開講を見合わせることとなりました。受講のキャンセルをご希望の方には、受講料をご返金いたします。今回新規ご入会の方には会員証を発行しております。入会金の返金をご希望の場合は会員証も併せてご返送ください。

キャンセルされない場合は、開講日程確定後改めてご連絡しますが、全日程開講中止となる可能性もあります。

なお、申込者が最小開講実施人数の10人に満たなかった、もしくは濃厚接触となるおそれがあるため既に開講中止が決定した講座があります。詳細は大学ＨＰでご確認ください。

問エクステンション事業課

緊急事態宣言に伴い全キャンパス閉鎖、事務取扱休止中につき、各部署へのお問い合わせは大学ＨＰのお問い合わせをご活用ください。

掲載情報は４月17日時点のものです。最新情報は大学ＨＰ（ＱＲコード）で随時更新しています

令和2年度学費等納付金について

内令和２年度学費等納付金（前期）口座振替日は、５月20日です。詳細は、令和２年４月８日に発送した「学費等納付金に関する通知」や大学ＨＰをご確認ください。

問経理課、学生生活課、たまプラーザ事務課

若木育成会「支部の集い」の開催予定について

内例年５月下旬から開催している若木育成会（保護者などの組織）「支部の集い」は、新型コロナウイルス感染拡大により中止します。大学との面談は、９月以降に延期します。詳細については、大学ＨＰで最新情報を更新しますのでご確認ください。

問校友課

役立ち情報

［国学院大学］	▶各種対策と情報	https://www.kokugakuin.ac.jp/covid-19_matomenew
［首相官邸］	▶役立ち情報特集	https://www.kantei.go.jp/jp/pages/coronavirus_info.html
	▶困りごとやお悩みは	https://www.kantei.go.jp/jp/pages/coronavirus_index.html
［厚生労働省］	▶一般向けＱ＆Ａ	https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/dengue_fever_qa_00001.html#iryou
	▶電話相談窓口	0120・565653、FAX03・3595・2756 ※受付時間：９時～21時（土日・祝日も実施）
［世界保健機関（ＷＨＯ）：英語］		https://www.who.int/

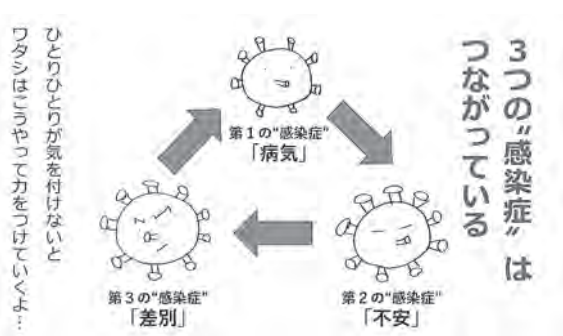
病気　不安　嫌悪・偏見　３つの顔を知って対策を

新型コロナウイルスの感染拡大によって、ネガティブで不確かな情報があふれています。このような現状を受け、日本赤十字社（日赤）は「新型コロナウイルスの３つの顔を知ろう！～負のスパイラルを断ち切るために～」という特集を公式サイト（**http://www.jrc.or.jp/activity/saigai/news/200326_006124.html**）に掲載し、感染拡大の弊害に目を向け、社会が「ＯＮＥ　ＴＥＡＭ」となって感染に打ち勝つことを訴えています。

特集は、まだ日本であまり取り上げられていない「不安」や「差別」についてわかりやすく伝えて警鐘を鳴らし、更なる感染の拡大を防ぐことを目的に日赤新型コロナウイルス感染症対策本部が作成したもので、日赤医療センターの職員が描いたイラストも添えられています。この中で、感染がもたらす「３つの顔」として、①病気そのもの②不安と恐れ③嫌悪・偏見・差別－を提示。それぞれが負のスパイラル（渦のようにつながる状態）となって悪影響を及ぼすと警鐘を鳴らし、それぞれの局面でどのように対応すべきかを紹介しています。

１つ目の顔に対しては、「手洗い」「咳エチケット」「人混みを避ける」で衛生行動の徹底を呼びかけ、ウイルスに立ち向かう行動が「自分のためだけではなく周りの人のためにもすることが大切」と強調。２つ目の顔に対しては、不安や恐れが「気づく力」「聴く力」「自分を支える力」を弱めるとし、立ち止まって一息入れる（深呼吸、お茶を飲む）▷ウイルスに関する情報から距離を置く時間を作る▷今の状況だからこそできることに取り組む－などの対応策を挙げています。

嫌悪・偏見・差別という３つ目の顔は、①わからないことが多いため不安が生まれる②人間の生き延びようとする本能により感染にかかわる人を遠ざける③差別を受けるのが怖くて受診をためらい拡散を招く－によって負のスパイラルが生まれるとしています。事実、ネット上ではパンデミック（爆発的な感染拡大）とされる諸外国に対する偏った意見も見られますし、若者の必需品となっているＳＮＳで差別的な情報が拡散されるケースも後を絶ちません。特集では、「不安をあおることは病気に対する偏見や差別を強めます」として、「確かな情報」を広める▷差別的な言動に同調しない－ことを要請。さらに、さまざまな場面で感染拡大を阻止するために頑張る人をねぎらい、敬意を払うことを呼びかけています。



日本赤十字社「新型コロナウイルスの３つの顔を知ろう！～負のスパイラルを断ち切るために～」より

最後に「３つの〝感染症〟をみんなで乗り越えていくために」として、「新型コロナウイルスは、３つの〝感染症〟という顔を持って、私たちの生活に影響を及ぼします。それぞれの立場でできることを行い、みんなが一つになって負のスパイラルを断ち切りましょう！」と強調。一丸となって難事に立ち向かう大切さを訴え、多くの手によってウイルスを封じ込めるイラストで締めくくっています。

新型コロナ感染予防の徹底を

新型コロナウイルスの感染者急増を受け4月16日、政府から全47都道府県に緊急事態宣言が発令されました。感染拡大を避けるため、不要不急の外出の自粛などにより一層の対策強化が全国民に求められています。混乱に乗じた犯罪が横行したり、不確かな情報が流布されたりもしています。こんな時に必要なのは「正しく恐れる」こと。厚生労働省や自治体など公的な情報源から正確な情報を入手し、正しく備えることが大切です。国学院大学も感染拡大を防ぐため対策を講じています。感染を防ぐ対策など、「今、必要な情報」をまとめました。

感染が疑われたら保健室に連絡を

新型コロナウイルス感染症と診断された方、疑いがあると言われた方は、必ず保健室に電話で連絡をしてください。

▶保健室アドレス　✉hoken@kokugakuin.ac.jp

▶渋谷TEL（平日9時～16時30分）　☎03・5466・0148

▶たまプラーザTEL（平日9時～16時）

☎045・904・7721

保健室（渋谷）TEL

新型コロナウイルス　受診・相談の目安

37.5度以上の発熱など風邪の症状がある

高齢者、糖尿病、心不全、呼吸器疾患など持病がある人

強いだるさ（倦怠感）や息苦しさ（呼吸困難）がある

4日続いたら相談

2日続いたら相談

すぐに相談

帰国者・接触者相談センター　検索

各地の保健所などに設置。
厚生労働省ホームページで連絡先が確認できる

厚生労働省の相談窓口

電話番号 0120・565653　受付時間 午前9時から午後9時

2020年3月31日付 産経新聞　無断転載・複写不可

対策1　「3密」を避けよう

感染拡大の温床となるのが、「密閉」「密集」「密接」の「3つの密」。換気の悪い密閉空間、多数が集まる密集場所、間近で会話や発生する密接場面は避けましょう。

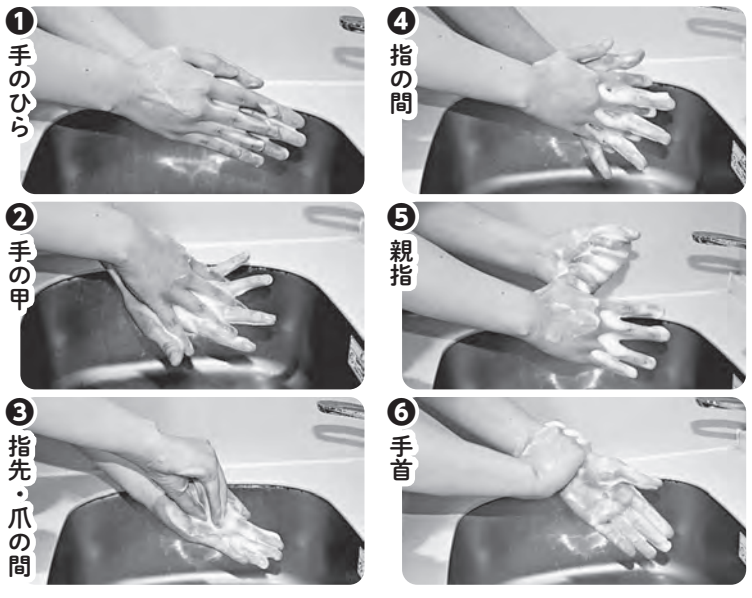
換気の悪い 密閉空間

多数が集まる 密集場所

間近で会話や発声をする 密接場面

対策2　しっかり手洗い、せきエチケット

接触感染を防ぐ正しい手の洗い方



流水で手をよく濡らし、指先、爪の間、指の間、親指、手首までしっかりと石鹸で洗って十分に流し、清潔なタオルなどで拭いて乾かします。厚労省では最低15秒、米疾病対策センターでは20秒以上を奨励しています。ちなみに、国学院大学の校歌の1番を最後まで歌うと20秒ほどになります。

不特定多数の人が触るドアノブや電車やバスのつり革を触った後や帰宅時や調理の前後、食事前などこまめに洗いましょう。

飛沫感染を防ぐせきエチケット

新任専任教職員紹介

令和２年４月、国学院大学に着任した専任の教職員のプロフィールを紹介する。丸数字は①略歴②抱負。

文　学　部

◆教授（特別専任）

菊地康人（きくち・やすと）

①東京大学大学院人文科学研究科博士課程単位取得退学。東京大学助手、講師、助教授、教授を経て現職。

②日本語を見つめて分析する仕事（日本語学、特に文法・敬語）と、留学生に日本語を教える仕事（日本語教育）の両方をしてきました。どちらもおもしろく、時に難しく、奥の深い仕事です。そのおもしろさや奥深さを皆さんに感じてもらう授業をめざします。

◆准教授

江川式部（えがわ・しきぶ）

①明治大学大学院文学研究科博士課程修了。博士（史学）。明治大学文学部助手、国学院大学文学部兼任講師などを経て現職。

②中国前近代史が専門です。中国の伝統社会において、祭祀儀礼を行うことが、社会秩序の維持にどのような役割を果たしてきたのかを研究をしています。本学の学生さんたちと一緒に、歴史社会と祭祀儀礼との関係について考えていきたいと思っています。

神長英輔（かみなが・えいすけ）

①東京大学大学院総合文化研究科博士課程修了。博士（学術）。新潟国際情報大学准教授などを経て現職。

②ロシア近現代史・日露交流史を研究しています。授業は西洋史概論・西洋地域史などを担当します。学生の皆さんとともに、広域の地域の歴史や地域横断的な諸問題の歴史を学んでいきたいと思っています。

進藤久乃（しんどう・ひさの）

①リヨン第二大学文学部博士課程修了。博士（文学・芸術）。学習院大学助教、松山大学准教授（特任）などを経て現職。

②20世紀フランス文学、とりわけシュルレアリスムを専門としています。学生の方々が、フランス語をきっかけに興味のあることを見つけ、視野を広げていくことができるよう、私自身もフランス語と専門分野の研究の研鑽に日々努めたいと思います。

法　学　部

◆専任講師

羅芝賢（ら・じひょん）

①東京大学大学院法学政治学研究科博士課程修了。博士（法学）。東京大学公共政策大学院特任講師を経て現職。

②政治学概論、比較政治入門などを担当します。政治に関して、学生の皆さんとどのような議論ができるか楽しみです。社会の多様な見方を理解できるよう、お手伝いできれば幸いです。

経　済　学　部

◆教授

小野正人（おの・まさと）

①国学院大学大学院経済学研究科博士課程後期単位取得退学。博士（経済学）。日本製鉄、日本生命保険、城西大学経営学部教授を経て現職。

②ベンチャービジネスを専門にしておりますが、大学スポーツにも関わってきました。産官学金にわたる長年の実務経験を生かして、学生に企業経営の醍醐味を伝え、創造力を持った人材を育てたいと思います。

◆准教授

尾田基（おだ・はじめ）

①一橋大学大学院商学研究科博士課程修了。一橋大学イノベーション研究センター特任助手、東北学院大学経営学部准教授を経て現職。

②授業では経営組織論などを担当します。研究では新事業創造時における規制形成について研究しています。大変な状況ではありますが、目の前の（あるいは、画面の前の）学生に真剣に向き合っていこうと思います。

櫻井潤（さくらい・じゅん）

①東京大学大学院経済学研究科博士課程単位取得退学。博士（経済学）。北海道医療大学看護福祉学部専任講師、同准教授を経て現職。

②社会保障財政、まちづくりと地方財政、地域医療政策を、日米比較を中心に研究しています。日本が目指すべき経済・財政のあり方を学生と一緒に考えることを通して、本学にわずかでも貢献できれば幸いです。

◆助教

安達有祐（あだち・ゆうすけ）

①名古屋大学大学院経済学研究科後期課程修了。博士（経済学）。日本学術振興会特別研究員を経て現職。

②都市経済や地域経済が専門で、交通インフラの整備が地域の経済に与える影響について研究をしております。国学院大学の躍進に微力を尽くすべく、日々の教育と研究に取り組んでまいります。

◆助教（特別専任）

辻和洋（つじ・かずひろ）

①東京大学大学院情報学環学際情報学府修士課程修了。読売新聞社、産業能率大学総合研究所などを経て現職。

②専門は人的資源開発論、ジャーナリズム論です。企業人や学生を対象とした人材育成を目的とするワークショップを展開してきました。新たな学びのあり方を学生とともに探究し、令和の時代に活躍できる人材を輩出していきたいと思います。

神道文化学部

◆助教

大道晴香（おおみち・はるか）

①国学院大学大学院文学研究科博士課程後期修了。博士（宗教学）。本学兼任講師、江戸川大学非常勤講師等を経て現職。

②専門は宗教学で、宗教とメディアを研究テーマとしております。自身を育てていただいた母校に奉職する機会をたまわり、大変光栄に思っております。本学の発展に寄与できるよう、力を尽くしてまいる所存でございます。

柏木亨介（かしわぎ・きょうすけ）

①筑波大学大学院人文社会科学研究科修了。博士（文学）。韓国蔚山大学校助教授、群馬県長野原町役場主任、重監房資料館学芸員を経て現職。

②専門は民俗学・文化人類学で、儀礼と社会規範を研究しています。神道研究の拠点である国学院大学で研究、教育に携わることができ光栄に存じます。明日の社会を担う学生たちと学問に励んでまいります。

人間開発学部

◆教授

大矢隆二（おおや・りゅうじ）

①愛知教育大学大学院・静岡大学大学院博士課程単位取得満期退学。博士（教育学）。常葉大学教育学部教授を経て現職。

②専門は保健体育科教育学です。児童・生徒の学びに向かう力を育てるために、基礎的な体育科教育学の理論と各運動領域の特性を生かした授業実践法について、学生とともに考えていきたいと思います。

富田一誠（とみた・かずなり）

①昭和大学医学部卒業、博士（医学）、昭和大学江東豊洲病院整形外科准教授、昭和大学整形外科学講座客員教授を経て現職。

②大学病院で整形外科医としてスポーツ医学と手肘を専門に邁進してきました。これからは伝統ある国学院大学の一員として、皆さんと一緒に一番身近な身体のことを学んでいきたいと思います。よろしくお願いいたします。

新学部設置準備室

◆教授

西村幸夫（にしむら・ゆきお）

①東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻博士課程単位取得退学、工学博士。東京大学教授、神戸芸術工科大学教授を経て、現職。

②観光学部（仮称）という新しい学部の立ち上げに奔走しています。来年の４月に開設できるよう、全力を尽くしたいと思います。専門は都市計画です。まちづくりの面から観光まちづくりに貢献したいと考えています。

研究開発推進機構

◆教授

梅川智也（うめかわ・ともや）

①筑波大学社会工学類卒業後、（公財）日本交通公社に入社。全国の観光地づくりに従事。理事・観光政策研究部長を退任後、立教大学観光学部特任教授を経て現職。

②新たな学部創設にかかわることができて大変光栄に存じます。観光を軸とした地域づくりや観光地の再生に貢献できる実践的な人づくりを目指し、微力ながら尽力してまいります。

楓千里（かえで・ちさと）

①学習院大学法学部卒業。㈱日本交通公社入社。月刊『るるぶ』副編集長、月刊『旅』編集長。㈱ＪＴＢパブリッシング取締役、エグゼクティブ・アドバイザーを経て現職。

②旅雑誌の編集、自治体や団体、企業の情報発信ソリューションを経験。観光まちづくりを目指す地域と学生を結び、ともに持続可能な社会の実現を考えてまいります。

下村彰男（しもむら・あきお）

①東京大学大学院農学系研究科修士課程修了。博士(農学)。㈱ラック計画研究所所員、東京大学農学部助手、助教授、教授を経て現職。

②造園学、風景計画学が専門。情報化がますます進展する現代、土地や地域に根差して生活すること、風景をはじめ地域資源を理解し、生かし、洗練させていくことの重要性を伝えていきたいと考えています。

米田誠司（よねだ・せいじ）

①早稲田大学大学院理工学研究科修士課程修了、熊本大学大学院社会文化科学研究科博士後期課程修了。博士（公共政策学）。東京都庁、由布院観光総合事務所事務局長、愛媛大学法文学部准教授を経て現職。

②公務員、民間団体、前職の経験を生かし、観光政策、観光まちづくりを研究しています。地域が地域らしくあり続けるための教育と研究に尽力します。

◆准教授

石山千代（いしやま・ちよ）

①東京大学工学部卒業・修了後、（公財）日本交通公社研究調査部を経て、東京大学大学院工学系研究科博士課程修了。同特任研究員、まちづくり大学院非常勤講師を経て現職。博士（工学）。

②地域デザインや観光計画の研究と実務に携わってまいりました。日本の豊かな地域の継承に貢献できる人材を育成する観光学部(仮)の設置へ向けて、尽力してまいる所存です。

清野隆（せいの・たかし）

①東京工業大学大学院修了。博士（工学）。立教大学観光学部助教、江戸川大学社会学部講師、准教授を経て現職。

②まちづくり、コミュニティデザインが専門です。歴史ある国学院大学で新しい学部の立ち上げに携われることを誇りに思います。新学部では、日本の地域を元気にする人材を育てることに尽力したいと思います。

◆助教（特別専任）

半田竜介（はんだ・りゅうすけ）

①国学院大学大学院文学研究科博士課程修了。博士（神道学）。㈱神社新報社、宗教法人神社本庁での勤務、本学研究開発推進機構ポスドク研究員などを経て現職。

②専門は近代神道史です。この度、伝統ある本学に奉職でき光栄に思います。責任の重さを自覚し、精一杯尽力する所存です。至らない点もございますが、どうぞよろしくお願いいたします。

大学事務局

◆総合企画部企画課書記

淡路治子（あわじ・はるこ）

①東海大学法学部卒業。法律事務所にて事務職として勤務、他大学にてＦＤに関する業務などに携わった後、国学院大学嘱託勤務を経て現職。

②伝統ある国学院大学に奉職できることを大変光栄に存じます。「継続は力なり」をモットーに、本学の伝統を守りつつ、さらなる大学のブランド力向上と、発展に尽力してまいりたいと思います。

◆財務部経理課主査

小野関和貴（おのぜき・かずき）

①平成20年３月国学院大学法学部卒業。ＥＹ新日本有限責任監査法人での監査業務を経て現職。公認会計士。

②歴史ある母校に奉職することができ感謝いたします。これまでの経験を生かし、本学のより一層の発展のために尽力してまいります。よろしくお願いいたします。

◆総務部人事課（試用期間）

米山聡香（よねやま・さとか）

①明治大学大学院法学研究科博士前期課程修了。

②大学院で培った思考力とスポーツ経験から得た体力を生かし、広範な知識が求められる人事課で職務を全うします。新型コロナウイルスの影響で厳しい状況が続いておりますが、先輩方のお仕事から多くを学び、いち早くお力になれるよう努める所存です。ご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

◆総合企画部入学課（試用期間）

濵野達哉（はまの・たつや）

①令和２年３月国学院大学人間開発学部卒業。

②母校である本学で働けることを大変光栄に思います。学生１人１人に手厚いサポートを行い、充実した学生生活を過ごしていただけるよう、仕事に取り組んでいきます。皆さまの力になれるように日々精進しますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

◆教学事務部教務課（試用期間）

柏木悠太郎（かしわぎ・ゆうたろう）

①令和２年３月国学院大学法学部卒業。

②母校である本学の職員として働けることを大変うれしく思います。至らない点も多くあると思いますが、持ち前の明るさとやる気で一日でも早く業務を覚え、本学の発展に貢献できるように精進していきます。よろしくお願いいたします。

◆教学事務部教育開発推進機構事務課(試用期間)

富永萌香（とみなが・もえか）

①令和２年３月独協大学経済学部卒業。

②長い歴史と伝統ある国学院大学に奉職できますことを、大変光栄に存じます。学生に寄り添う気持ちを忘れずに、職員としての自覚・責任を持ち、少しでも早く皆さまのお力になれるよう精進してまいります。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

◆たまプラーザ事務部たまプラーザ事務課（試用期間）

肱岡幸奈（ひじおか・ゆきな）

①令和２年３月国学院大学人間開発学部卒業。

②長い間自分自身を育てていただいた国学院の名の下で働けることを誇りに思います。学生時代、特にお世話になったたまプラーザ事務課で働けることに感謝し、多方面からのニーズに応えられる頼もしい職員となり大学の発展に貢献できるよう精進してまいります。

準硬式野球部 52年ぶりV

第62回関東地区大学準硬式野球選手権大会が３月14～25日、サーティーフォー保土ケ谷球場（横浜市保土ケ谷区）などで行われ、国学院大学準硬式野球部は52年ぶり３回目の優勝を決めた。

大会は、新型コロナウイルスの感染拡大により出場を見合わせる大学が相次ぐ中、検温や体調管理など感染予防策を徹底して行われた。同部は、強力打線を武器に１回戦から６試合を勝ち抜き決勝に進出。法政大学との決勝は、３－４と１点を追う７回に途中出場の徳永椋選手(法２・当時)らの３連打で３点を奪って逆転。投手陣では２番手の小野達哉投手(経営２・同)が３回２／３を無失点で抑えるなど３投手の継投で逃げ切った(６－５)。

早咲きの桜の下、学生たちがイベント

早咲きの河津桜が咲きそろう渋谷川沿いの遊歩道「渋谷リバーストリート」で２月21、22の両日、第２回「渋三さくら祭」が行われた。同イベントに協力した国学院大学経済学部の田原裕子ゼミは、こたつで温まりながら花見ができる「さくら”ホッと”こたつ」を企画。渋谷川沿いの遊歩道にこたつを並べて、来場者をもてなした。春一番を観測した22日、会場で販売する本格ちゃんこ鍋や飲み物を手にこたつで温まりながら桜を楽しむ来場者の姿が多くみられた。

渋谷ストリーム前の稲荷橋広場では22日、全国大会優勝経験がある本学ドリル競技部SEALSがダンスパフォーマンスを披露。集まった100人ほどの観客や行き交う人々から温かい拍手が送られた。さくら祭は３月８日まで開催される予定だったが、新型コロナウイルスの感染拡大を受け、２月28日以降のイベントは中止となった。

新型コロナウイルスによる課外活動への影響

新型コロナウイルスの感染拡大や緊急事態宣言の発表を受けて、各体育部会が加盟する団体でも大会の中止、延期などの措置をとっている。主な対応は次の通り。

硬式野球部＝（４月６日開幕予定）東都大学野球春季１部リーグ戦→延期、試合日程決まり次第発表

柔道部＝（４月４、５日開催予定）全日本選抜柔道体重別選手権大会→延期、代替日決まり次第発表

（６月27、28日開催予定）全日本学生柔道優勝大会（男子69回 女子29回）→延期、６月中旬までに収束しない場合中止

（９月12、13日開催予定）全日本ジュニア柔道体重別選手権大会→中止

陸上競技部＝（５月21～24日開催予定）関東学生陸上競技対校選手権大会→５月開催の中止、今年度の開催を目指す。

学長特別賞に毛塚さん（初教）、柔道部・相田選手（法）、陸上競技部長距離ブロック 学生部長賞には3団体と12人

令和元年度の学長特別賞と第２回学生部長賞の受賞者が決まった。

学生部長賞の中から、特に優れた功績を残した者に贈られる学長特別賞は、毛塚美穂さん（初教４）と柔道部の相田勇司選手（法２）、陸上競技部長距離ブロックが選ばれた。

毛塚さんは、３年連続で成績最優秀者として表彰されたことが評価された。

相田選手＝**写真右下**＝は、昨年行われた講道館杯全日本柔道体重別選手権大会男子66kg級での初優勝、グランドスラム大阪2019男子66kg級３位など国内外での活躍が評価された。陸上競技部長距離ブロックは第31回出雲全日本大学選抜駅伝競走初優勝＝**同左下**＝、第96回東京箱根間往復大学駅伝競走（箱根駅伝）往路２位、総合３位による表彰。団体の表彰は平成23年度の柔道部以来８年ぶり。

第２回学生部長賞には３団体と12人が選ばれた。受賞者は**下表**の通り（敬称略）。表彰式は、新型コロナウイルス感染症の影響により実施されず、個別に表彰状と副賞が授与される。※学年は３月時点

学長特別賞の表彰を受ける毛塚美穂さん（左）

●個人 ※学年は当時

氏名（所属）	対象事項
毛塚美穂（初教４）	◆「国学院大学成績優秀者奨学制度」成績最優秀者 ３年連続表彰
瀬戸成一郎（日文２・硬式野球部）	◆東都大学野球秋季１部リーグ ベストナイン（指名打者）
島田隆志郎（健体４・柔道部）	◆全日本学生柔道体重別選手権大会 男子73kg級 優勝 ◆2020ヨーロッパオープン・オーバーヴァルト 男子73kg級 ３位
相田勇司（法２・柔道部）	◆講道館杯全日本柔道体重別選手権大会男子66kg級 初優勝 ◆グランドスラム大阪2019 男子66kg級 ３位 ◆グランプリ・タシケント男子66kg級　準優勝
武岡毅（日文２・柔道部）	◆世界ジュニア柔道選手権大会 男子66kg 日本代表出場 準優勝 ◆全日本ジュニア柔道体重別選手権大会 66kg級 優勝
土方英和（健体４・陸上競技部）	◆陸上競技部の主将としてチーム全体をまとめ、大学三大駅伝出場に貢献した。第31回出雲全日本大学選抜駅伝競走の最終６区４位で襷を受け、トップの選手を猛追し見事逆転初優勝のゴールテープを切った。
浦野雄平（経営４・陸上競技部）	◆秩父宮賜杯第51回全日本大学駅伝対校選手権大会 ２区区間２位（区間新記録） ◆第96回東京箱根間往復大学駅伝競走 ５区区間３位（自己記録更新）
青木祐人（経ネ４・陸上競技部）	◆秩父宮賜杯第51回全日本大学駅伝対校選手権大会 ５区区間１位（区間新記録・区間賞）
小島叶愛（初教２・卓球部）	◆第86回全日本大学総合選手権個人の部 女子ダブルス 創部初ベスト８
阿部里歩（神文２・卓球部）	◆第86回全日本大学総合選手権個人の部 女子ダブルス 創部初ベスト８
加藤知大（神文１・スポーツチャンバラ部）	◆第45回全日本選手権大会 １～２級両手長剣 優勝 ◆第26回スポーツチャンバラ全日本学生選手権大会 新人男子グランドチャンピオン
長久保涼（史３・居合道部）	◆第52回東日本学生居合道大会 個人の部 優勝 ◆第34回全日本学生居合道大会 個人の部 ３位

●団体

氏名（所属）	対象事項
陸上競技部・長距離ブロック	◆第31回出雲全日本大学選抜駅伝競走初優勝 ◆第96回東京箱根間往復大学駅伝競走で過去最高、往路２位 総合３位
投資研究会KISHU	◆第10回名証株式投資コンテスト 団体戦 優勝・準優勝・９位入賞
囲碁部	◆令和元年度春季関東学生囲碁団体戦 一般３部優勝 ◆令和元年度秋季関東学生囲碁団体戦 一般２部優勝 １部昇格

柔道部　島田選手 国際大会で銅

2020年ヨーロッパオープン・オーバーヴァルトが２月15、16日にオーストリア・オーバーヴァルトで行われ、日本代表として男子73kg級に出場した島田隆志郎選手(健体４・当時)は、３位に入った。

１回戦から危なげない試合で勝ち進んだ島田選手は、準決勝でガブラー・アレクサンダー選手（ドイツ）に優勢負けを喫し３位決定戦に回った。銅メダルをかけた一戦は、ヴァン・デル・コルク・ヤニック選手（オランダ）に対して序盤に技ありを奪った島田選手が優位に進め、試合開始から２分26秒、出足払いで一本勝ちを収めた。

試合後、島田選手は「３位に終わってしまったが、とても良い経験ができた。久しぶりの国際大会で、心身ともに準備の部分で苦労した。４月から社会人になり、結果が求められる中でしっかりと考えながら国学院大学ＯＢとして、今まで応援してくださった皆さまに良い報告ができるように精進したい」と話した。

K:DNA

2020 4

K:DNA――創立138年目を迎えた国学院大学の遺伝子…個人・個性を尊重する校風　若いエネルギーが未来を変える

陸上競技部

浦野選手 クロスカントリー 日本一

写真：共同通信提供

陸上の日本選手権クロスカントリーが２月22日、海の中道海浜公園（福岡市）で行われ、男子（10km）で国学院大学陸上競技部の浦野雄平選手（経営４・当時）が終盤に抜け出し、29分18秒で優勝した。今年の箱根駅伝５区で区間３位に入るなどチームの躍進を中心で引っ張った浦野選手。学生最後のレースは昨年の日本選手権１万ｍ覇者の田村和希選手（住友電工）、田村友佑選手（黒崎播磨）らと先頭集団でレースを引っ張り、残り１kmで先頭を走る田村和を振り切った。

浦野選手は「３位以内に入ることを狙って臨んだ。レースを引っ張らずに勝ちを意識した。プラン通りのレースができた」と話した。今回の優勝で、今秋に開催が予定される陸上日本選手権１万ｍの出場権を得た浦野選手。富士通に進み、東京五輪出場を目指す。「チャンスがあるので挑戦していきたい。強い選手にもまれながら競技者として極めていきたい」と意欲を見せた。

陸上競技部

土方選手 初マラソンで好記録 東京マラソン

東京マラソンが３月１日、東京都庁前から東京駅前のコースで行われ、国学院大学陸上競技部の土方英和選手（健体４・当時）が出場した。東京五輪の男子マラソンの代表選考レースとして注目された大会。日本記録を更新した大迫傑選手らが注目される中、土方選手は初マラソンながら、スタートから第２集団に加わり、35kmまで初マラソン日本記録や日本学生マラソン記録を狙えるペースでレースを進めた。最終盤にペースを落としたもの２時間９分50秒の日本学生歴代３位となる好記録で28位に入り、新人賞を受賞した。

未来につなぐ 学術資産研究ノート

疫病を鎮め、平安を祈る祭祀・芸能

井上頼寿　『京之山』No.4

いつの時代も疫病の流行は恐ろしい。このため、それを鎮め、平安を祈る祭祀、芸能が各地に伝承されている。その一つが、今宮神社（京都府京都市北区）周辺で春に行われる、やすらい祭（やすらい花とも）である。これは、花で飾った風流傘を中心に、赤や黒の長髪をつけた人々（大鬼や羯鼓〈かっこ〉〈小鬼〉と呼ばれる）が行列し、また、神社をはじめ、いくつもの場所で踊る。これによって、疫病を流行（はや）らせる神を鎮め送ろうとするものである。

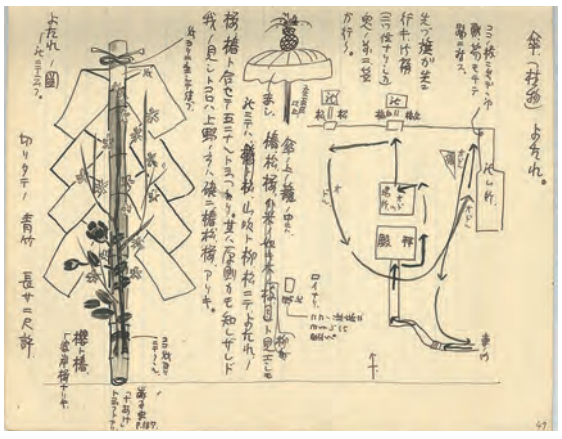
井上頼寿（1900～79）は京都周辺の祭りや行事を調査した民俗学者であり、『京都古習志』『近江祭礼風土記』ほかの著書がある。大正15（1926）年、頼寿は、今宮神社のやすらい祭を見学に行っている。その時の記録が、彼のノートである『京之山』No.4（国学院大学蔵、井上氏旧蔵資料、大正14年10月～15年６月）の中に収められている。

このノートには、花で飾った御幣や風流傘、境内の図、踊り方の説明、傘の下へ入れば疫病にかからないとする信仰があることなどが記される。

現在のような時期に、疫病鎮めの祭りについて安易に書くべきではないのかもしれないが、やすらい祭の資料をみると、時代が異なっても変わらない願いや、疫病に対する恐れを実感する。

国学院大学では、京都府・京都市と連携して、井上頼寿ノートの調査などを進めている。

（研究開発推進機構准教授・大東敬明）


井上頼寿ノート『京之山』No.4【国学院大学所蔵】